

疾病論Ⅱ	1 年・後期	1 単位	教授 千明 政好
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210351

1. 授業のねらい・概要

本科目では、呼吸器、消化器、運動器の主要な疾患について学習する。

2. 到達目標

各疾病の病態生理、症状、検査、治療を把握し、適切・的確な看護に役立てる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。

4. 授業計画（講義）

1. 呼吸器 ① 症状と徴候とその病態生理、検査 治療処置（千明政好）	9. 消化器 ④ 肝臓と胆嚢疾患
2. 呼吸器 ② 感染症、間質性肺疾患	10. 消化器 ⑤ 膵臓の疾患
3. 呼吸器 ③ 気道疾患、肺血栓塞栓症	11. 消化器 ⑥ その他の消化器疾患
4. 呼吸器 ④ 呼吸不全、肺腫瘍	12. 運動器 ① 症状と徴候とその病態生理、検査 治療処置
5. 呼吸器 ⑤ 縦隔の疾患と胸部外傷他	13. 運動器 ② 骨折と神経損傷
6. 消化器 ① 症状と徴候とその病態生理、検査 治療処置	14. 運動器 ③ 関節の炎症と骨腫瘍
7. 消化器 ② 疾患の理解 食道の疾患	15. 運動器 ④ 神経と脊椎の疾患、その他
8. 消化器 ③ 疾患の理解 胃・十二指腸の疾患	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70％、受講態度・課題レポート提出30％で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院

系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学[5] 消化器 医学書院

系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学[10] 運動器 医学書院

参考書：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

人体の構造と機能の知識を必要とするのでシラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。
事前学習の必要時間は各自で考え十分に実施すること。最低1時間以上取り組むこと。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は8.に記入する）

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

定期試験の解答は試験後口頭でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員は看護師として20年以上の臨床経験を持つ。